

地元の皆さんに聞く高山の楽しみ方

★仕事後のお酒を楽しむ★



高山の人はお酒が大好きです！実は人口と比較した飲み屋の数がめちゃ多い高山！そのため生き残るために店のレベルが高く、「このおいしさでこの価格なの！」とびっくりすること多かったです♡お酒好きにはたまらない過ごし方です☆

★高山の自然を味わい尽くせ～★



高山には海はない！海がないなら山で遊べばいいじゃない！高山の自然は圧巻。山脈が連なり、夏は登山やハイキング、川釣りのために高山に移住してきた人もいるくらい高山の川は綺麗！冬になればウィンタースポーツを楽しめます♡ちょっと車を走らせれば流れ星が見に行ける、そんなステキな高山です。

★ゆったり温泉で癒しの時間★



高山には数多くの温泉があります。中心地には多くないですが、車を使えば色々な温泉に行けちゃいます。皆さんそれぞれ行きつけの温泉が違うので、あなたのお気に入り温泉もきっと見つかりちゃいますよ★

♪BBQ愛が止まらない♪



なんと高山では、ほぼ一家に一台BBQ用コンロがあるほどみなさんBBQ好き。そして、友達を呼んで気軽に楽しめるのがhappyですよ♪

♪カフェでのんびり♪



のんびり本を読んだり音楽を聴いたり。オシャレなカフェでのんびり過ごすのも乙なものです。高山には素敵なカフェがたくさんあります。読書をしたり、音楽を聞いたり、素敵な時間が過ごせること間違いなしです♪

♪観光客ごっこ♪



移住者だけではなく意外にも地元の人も観光客ごっこをして楽しむそうです(笑)古い町並みを観光客気分でご飯歩きしたり、朝市を巡ってみたい♪1年中行われ、季節によって店や品が変わるのが特徴です♡

高山の楽しみ方

小林: 娯楽ですか？ そうですね、確かにショッピングセンターとか映画館はないです。

神野: 映画館が一番近いところで富山県にあるって言ったよな(笑)

小林: まあ、ゲオあるしDVD発売待ちでいいんじゃないかな。ショッピングでかわいい服買いたいときかも富山！富山まで車で一般道を使っても2時間半。ドライブも映画も楽しめるなんて素敵だと思います？(笑)(※高山暮らしには車が必須です。できれば四駆がいいですよ！雪降った後の坂道が上りやすいし、雪の深いところにハマった時抜け出しやすいというメリットがあります！)

神野: 物は考えようってやつだね(笑)高山の人は割と気軽に富山まで行っちゃうらしいし、問題っちゃ問題だけど楽しめてるのかもね、そんなところも(笑)

神野: でもあれだよな、そういう用意された娯楽を楽しみたいっていう人はまず田舎は向いてないんじゃないかなあと思う。

小林: それだと思う。田舎って、能動的に過ごさないとやっぱり退屈なんですよな。

神野: 「刺激がない・出会いがない・娯楽がない」とイメージしがちだよな。

小林: それそれ！でも、高山はそんなこと全然なかったです。上見ただけで楽しそうな過ごし方ばかりじゃないですか？私たちが仕事で手一杯な時が多かったし、季節が冬だったので知らないことばかりでしたけど仕事終わりに地元の人とご飯行っただけでも楽しかった～♡

もちろんのんびりしたいときは、あっちこっちに喫茶店あるからお気に入りのカフェで過ごすのもいいし、温泉も近いところにあるみたいなのでそこでゆっくりするの也不错なものですよな～。まあ、一年中遊んで暮らしたいわ～。

神野: あかんやる(笑)

移住に興味があるあなたへおしらせです！

◎移住に悩んだときはココをCHECK◎

☆市役所ブランド戦略課☆

移住前だけでなく、移住後の相談も気軽にできる移住者の味方です！住宅の物件探しの相談にも乗ってもらえるなんでも屋さんです◎ 僕たちも今回とってもお世話になりました！

☆グッとくる飛騨☆

本気で移住を考える人のための情報サイトです！ここでは実際に移住した方のお話や高山での暮らしがリアルに掲載されています。飛騨での生活、移住に関する役立つ情報が満載！一度読んだら飛騨が気になって仕方がなくなる……！ そんなステキなサイトです。

<URL <http://hida-iju.com>>

🌸 右のQRコードでCheck →

飛騨三市一村(高山市、飛騨市、下呂市、白川村)で構成される、飛騨地域創成連携協議会が運営しています♡



◎行政からタメになるお知らせ◎

☆家賃の支払いを補助します☆

(飛騨高山ふるさと暮らし・移住促進事業補助金)
家賃月額額の3分の1以内で15,000円を限度とし、3年間補助しちやいます！

☆若者限定の家賃補助！☆

(若者定住促進事業補助金)
高山市へU・I・Jターン就職した若者で、賃貸住宅・借家を借りられた方に対して、家賃の一部を補助♡

☆奨学金の返済をお助け☆

(奨学金返済支援事業補助金)
高山市へU・I・Jターン就職をした若者に対して、奨学金の返済金額の一部を補助します♡ (月最大2万円！5年間補助が続きます)

☆空き家の改修費を補助します☆

(まちなか定住促進事業補助金)
中心市街地区域内に移住する方に対して、住宅の新築・取得・改修に要する経費の一部を補助します。市外から中活区域への移住者に対し、対象経費の2分の1以内で1,500,000円を限度に補助してくれます。

住民票を移さないともられないので要注意ですよ！



住むところが決まったら家の周りのスーパーやお医者さんをCHECKしておきましょう！



番外編！

あなたは何を理由に会社を選びますか？

小林: ね！見て！面白いのこれ！

従業員が会社を辞める理由ベスト5	入社したい会社を選ぶ理由ベスト5
1位 人間関係	1位 給与
2位 職場環境	2位 待遇
3位 仕事のやりがい	3位 仕事のやりがい
4位 待遇	4位 職場環境
5位 給与	5位 人間関係

(出典：エンジャパンヒヤリング)

神野: へ～、そうなの!? 入社するときは、給与を気にするけど、会社を辞める理由は人間関係なんだ！

小林: ね～。面白い調査結果ですよな。

神野: まあ、バイトやめる時って確かに、人間関係とか職場の雰囲気合わなかったりっていうのが嫌でやめたりする人達は多いよね。

小林: 私もそれでしたな～(笑) 自分の個性が潰されて、感情殺さないってやっていけないような職場関係はほんとにつらいです。いくら給料よくても無理でした～。

神野: 小林さんに聞かせる……。

小林: ブラック小林頑張ってます◎ まあいいとして、人間関係とか職場の環境を考えてみたときに、清龍はどうなんですか？

神野: 職場の環境も人間関係もすごくいいと思う！清龍って、個性を押しつけるんじゃないって、個性を見つけて伸ばす事の出来る会社だと思う。だからこそ、一人一人の個性が活きて、それが自分の居場所に繋がるんだと思うな。

小林: 確かに～！私も働いてすごく幸せな場所でした。みなさん褒めて伸ばしてくれますし、あだ名で呼んでくれたりするから。一個人として認められてる感じがしました。社員さんやパートさんみんなが親切だし！

神野: そうだね。皆さんとっても親切にしてくれるね。でも、やるときは目の色が変わって超真剣だし、それぞれにこだわりを持って仕事しているのがすごく伝わってくる

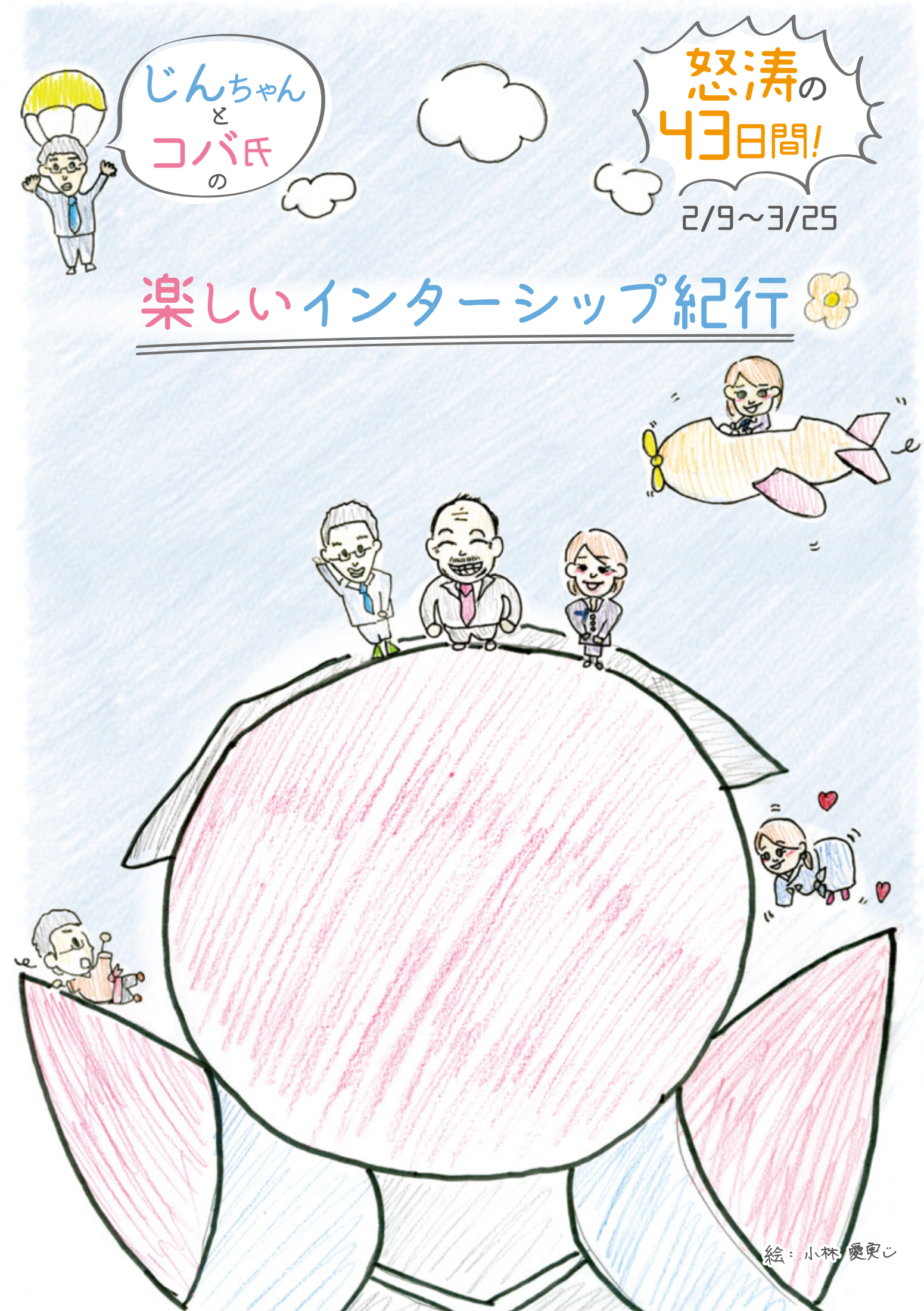
小林: 自分が自分らしく働けるステキな職場だと思う！♡

神野: 人生で仕事をしていく年数って一番長いから、仕事をしていて楽しいのか、個性を生かして自分らしい仕事ができるのかってことが人生の幸せを%で表したときに大きく関わってくるんじゃないかなと思うよ。

小林: ◎ほんとにその通り◎あ、今までのことは社長に言われてるのかじゃなくて私たちの本心ですからね！(笑)

神野: そうだね(笑)こういうことも踏まえミスマッチのない会社に就いたら幸せですよな。僕らの話が皆さんの就活に少しでもお役に立てたら嬉しいです。

小林・神野: 最後までお読みいただきありがとうございます！





神野元汰

(じんの げんた)

愛知大学地域政策学部学科2年
◎出身地:愛知県名古屋市

★インターン参加理由

田舎暮らしに興味があって、高山の暮らしを体験し発信したいと思ったのが理由です。

◎趣味:田舎巡り、テニス

◎高山ではまったこと:漬け物食べ比べ、半弓道場へ通うこと、居酒屋巡り

◎高山でのびっくりエピソード:
おたふく風邪で人生初の入院。
川でポーっとしたら、寮のメンバーから締め出しを食らう。



小林愛実

(こばやしあみ)

東洋大学国際地域学部学科1年
◎長野県出身・埼玉県在住

★インターンを決めた理由

田舎暮らしをしたい人向けの情報冊子の作成が楽しそうだな〜、田舎のいいところいっぱいアピールできるいいチャンスじゃ〜ん!って思ったのがきっかけです。あと社長が面白そうな人だあって思ったっていうのが決め手でしたね!

◎性格:気分屋・人懐っこい・小生意気・めんどくさがり(B型を地で行く女)

◎最近困っていること:筋トレしてるのに体型が変わらないこと☹



(まちスポ写真)

“高山で意外だったこと”

小林: 若い人たちが地域活性化について考えていたところかな。Uターンしてきた人だけじゃなくて、Iターンしてきた人たちかも高山が元気になるように!って取り組んでるのがすごい意外でした。実は今高山にはたくさん若者が移り住んできていて、何か新しいこと始めようとか、地域活性化をしようとかって活動されている方がたくさんいるの。

神野: そうやって自分たちで何かやろうとしている人たちのお話聞くだけで刺激が得られる◎ それに、何か自分がやりたいことがあって取り組めば大抵イベントとかでできちゃうみたいよね。もちろん、準備の段階で色々大変なことはあるんだろうけど、そういう時手を貸してくれる人ばっかだから高山って。この冊子作る時もそうだったけど。

神野: そういう意味で、高山は自分のやりたいことができる町って言えるよね。

小林: 助け合い精神手の届く幸せを感じられる街、それが高山だってUターン者もIターン者も言っていましたね。この町のために何かしたい!って思ったときに、何かできちゃうんですよ、高山だと。



(零宮祭:地域で支える祭り写真)

“高山の魅力については”

神野: 田舎らしい温かみがあるところだと思う。高山の人って、観光地の人にはもちろん優しいんだけど、地域住民同士や移住者なんかに優しい。何か見返りを求めて優しくしているわけではなくて、自然と助け合いの精神を持って行動してるのがすごい。気持ちを分かち合いたいから、楽しいこともみんなて共有したいってなる。それが高山の人は夏にみんなでバーベキューをすることに繋がるんだろうな(笑)

小林: 確かに、シェアハッピー精神あるような気がしますね。なんでなんでしょうね。

神野: 高山の地域の温かさの根底にあるのは、コミュニケーションだと思う。中学生や高校生が地域の人に挨拶したり、今でも飛騨弁が使われていたり、宴会では「めでた」※1を謡い、飲み屋で知り合いと遭遇すれば席を交え話をし…。そうした小さな積み重ねが温かい高山を作っていてこれも高山の立派な文化の一つなんじゃないかな。

小林: 小さな積み重ねですか。まあ現代社会で失われつつあるものが高山ではちゃんと残ってますよね。また、よそ者に対しても寛大で輪にすぐ取り入れてくれる居心地の良さが魅力だと思います(笑)

※1:「めでた」とは、高山の伝統的な祝い歌で、宴会では必ず歌われます。

移住者の声! 高山ってどんなところですか?



市橋 満里奈さん

・大卒移住2年目
・ファミリーストアさとう勤務
・愛知県津島市出身

高山に来ようと思ったきっかけは?

大学二年生の時に旅行で高山にきたときに直感で住みたい!って思ったことです。私は愛知出身なんですけど、景色が全然違つてすごく綺麗なところに惹かれました。あと、地元の人たちもすごく魅力的で、飲食店に入った時とか「よう来てくだささつ〜」って温かく迎えてくれるんです。そういうのがすごく温かいなあって、うれしくて、大好きになっちゃいました(笑)

高山への移住前に不安だったことってありますか?

言葉が通じるかな? っていうのが不安でしたね〜。飛騨弁が全然わからなくて! 今は少しわかるようになりましたけど……。年配の方とお話するととかは本当にわからなかったです。高山の人の飛騨弁って訛ってる+早いんですよ(笑)



植杉 祐貴さん

・大卒移住1年目
・高山市役所勤務
・北海道熊石町出身

高山に来ようと思ったきっかけは?

高山を舞台にしたアニメの「氷菓」がきっかけです。そこから調べていって高山の魅力に引き込まれていきました。そのうち、これだけの観光客を世界中から集められる高山の資源利用に驚き、自分も高山で働いてみたいと強く思うようになりました。また、元気な町で自分の規模に合った田舎に住みたいと思ったのも理由の一つです。

住んでみて感じた高山の魅力は?

食文化が独特で、しかもおいしい物ばかりなこと。漬け物ステーキとか、漬け物を溶いた生卵と一緒に焼く料理ですがすごくおいしいです。他にも高山のみたらし団子は、醤油だれで甘辛だけじゃないんです。たれに付けてから焼くので香ばしくておいしいですよ。

地元の人と仲良くなるためのコツは?

覚えて使うことですね。「まめけな〜?」とか! 「元気〜?」って意味なんですけど、よくおばあちゃんたちが聞いているんですよ。まめけな〜? って!(笑)飛騨の言葉を使ってみることで、地元の人たちとの距離が縮まりますよ◎

△ だいふ困った雪かきコラム △

移住者がぶつかる壁…それは冬の雪かき! 仕事で忙しいのに早起きして雪かき…できればしたくないですよ。

そんなあなたはアパートやマンションに住むのがオススメ! 大家さんが雪かきしてくれる物件があるそうです。是非住居選びの際に、雪かきの有無についてもCheckしてみてください!

(住居選びは冬を基準にするのが一般的みたい!)



素敵な素敵な高山の魅力。高山へ行ったことがない人も、高山を訪れたことがある人も!

高山の魅力である **ひと×まち×しごと** の充実した生活をのぞいてみませんか?

私たちの移住体験から生まれた雑誌です。ぜひご覧ください🌻

僕らが語る高山ぶっちゃけトーク



(高山駅構内写真)



(展望台から見る高山の景色写真)

“高山に最初来た時どんな印象だった?”

小林: 自分が想像していたよりも田舎じゃないなという印象でした。

神野: 確かに! 俺も想像してた田舎と全然違うからびっくりしたわ。

小林: ね! 市街地はすごく栄えていて、高山駅から半径3km以内に住んでいられたいスーパー、コンビニがある!+ 苦も無くほとんどの日用品は揃っちゃう感じですね〜。人が住んでいる範囲が狭いから(郊外でも居住区がコンパクトに収まっているため)、市街地へのアクセスは便利ですよ。車だと10〜20分くらいですか?

神野: そんなもんだね。いや〜わりと拍子抜けしたよなあ。

小林: 観光地ということもあって町にも活気があるし、お店の人たちはみんなハツラツとしていて、こっちにもエネルギーが伝わってくる元気な町だなあと。あと私たちがインターンした時期が冬だったからなんですけど、雪がやばいし寒いな〜って思いました! 途中通った奥飛騨よりかは少ないですけど、それでもこんなもりと雪が積もっている風景は狂喜でした。太陽出てくるとキラキラして綺麗に見えて、自然の驚異、恩恵、美しさを同時に感じられる場所だという印象も受けました。

神野: なんか詩人みたいなこと言っとるけどこれ本当なんですよ。

“高山の自然はどうですか?”

神野: 高山は夜と朝で違った表情が見れてめっちゃ楽しいよね。高山の人の温かみもすごくいいんだけど、夜になると町がめっちゃ静かになる! 人全く歩いてないの(笑)

小林: 街灯もなく、夜12時以降に開いているお店がほとんどないから尚更ね〜。

神野: そんな風に高山は朝と夜で違った表情が見れて楽しいね〜! 俺が忘れられないのは高山の夜空かな! 車で20分も走らせた所にある何も変哲も無いただの空き地なんだけど、寝転がって空を見れば満点の星空広がってんの。賑やかで温かい人と静寂で雄大な自然とのメリハリが自分にとって高山の最高の魅力だと思うな〜。

小林: わたしは山が好きです〜! 山に囲まれているってことは、四季の移ろいを視覚や嗅覚、聴覚を通じて感じることができるということなんです。身近な場所に川があって、あそこで夏は遊んでいいのかな、とか魚つっていいのかな?って考えるだけでもわくわくです。季節の移ろいをいるんなどこで感じられる! これがあるから飽きないのよね〜田舎って(笑)

“こっちにきて生活を始めて大変だなあと 思った事”

小林: 移動手段が最初徒歩だったので、移動が大変だなと思いました。旅館が徒歩40分のところにあつたので雪の中歩くのは大変でした。雪があると歩みにくいので……。自転車を借りてからは行動範囲がめっちゃ広がって、車有ったら無敵だ、これは! と思いがちな(笑)

神野: 雪の日の自転車は危ないけどな! 俺なんて4回同じところで転んだし(笑) あと雪かきも大変だよ。旅館の駐車場の雪かき手伝いましたけど、すごいしんどい(笑) 雪が連日降り続けると積もる雪の量は半端ないみたい。

小林: それ! でもめっちゃ楽しいし、色々コツとか秘密兵器を旅館の人に教えてもらいながらやりましたよ。生活の知恵だなと。あの自然の中で生きていくためのスキルとか、知恵は都会じゃ身につかない貴重なものだと思います。

神野: 田舎で暮らすと頭使うんだね。

小林: 足りないもの、無いものが多い分知恵を絞って補うんです。自然とどう調和して生きるのか。人間の原点な気がします!



じんちゃん
アドバイス!

興味があったら迷わず飛び込め!



ドリコミュ

開催場: Co-ba等
開催日: 毎月頭にある。
内容: みんなで1ヶ月の出来事をワイワイ話す。おしゃべり大好き集まれ! Facebookページもご覧あれ〜

僕の拠点作りは、まずイベントに参加することです! イベントは自分が興味があるイベントに行くことって意外と大事。同じ興味を持った人たちと出会えるので、会話が弾んで楽しくなりやすいですよ。イベントで親しくなれば、親しくなった人から新たな拠点や気の合う仲間を紹介してもらいます。この方法は、地道ですけどミスマッチがおきにくいのでオススメです。

👶 おともだちのつくりかた!



ひだマンデー後
「一番好んで」

コバ氏オススメ!
夜遅くまでしゃべり明かそう〜🌟

第1月曜日に開催!



☆ひだマンデー🍷

ゲストハウスとまる☆

ゲストハウスの宿泊客、地元の人、スタッフみんなでパーティーをするイベントです! 友達の話が広がるすてきなイベントですよ。

私が拠点としたのはここなる横丁と一番街です◎ 地元の人や観光客も集まる交流の場。一人で餃子食べたりに焼き鳥食べたりに、1人でふらふらしてれば必ず誰か知り合いと遭遇する場所です! (笑) 地元のパレー会で仲良くなったお兄さんたちや、地元のお姉さんたち、観光できた同世代の大学生たちとも夜ここにきては楽しく過ごしました🌟 小林一押しスポットです◎